



文部科学省

委託調査

2024

5歳児最大15,000人を小学校4年生まで追跡調査  
幼児期の教育が及ぼす影響を明らかにします！

# 幼児教育に関する 大規模縦断調査

## 実施のお知らせ



2024年から5年間  
5歳児縦断調査



東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（CEDEP）はこのたび、文部科学省からの委託を受け、「幼児教育に関する大規模縦断調査」を実施します。

日本の幼児教育・保育がその後の子どもの育ちに長期的に影響を及ぼすのか、そして、幼児教育・保育のどのような特徴が子どものより良い育ちに寄与するのかを明らかにするための調査です。幼児教育・保育の重要性や重点的に支えるべき点を実証的に明らかにし、今後の幼児教育政策形成のためのエビデンスを提供することを目指します。未来の子どもたちが、より一層健やかに育つ環境を整えるために、皆様のお力をお貸しください。 ※「縦断調査」とは、同じ人たちを複数時点に渡って追跡する調査のことです。



園の先生 (2024年度)



小学校の先生 (2025年度以降)



保護者



The Center for  
Early Childhood Development,  
Education, and Policy Research

東京大学大学院教育学研究科附属  
発達保育実践政策学センター（CEDEP）

# 調査方法



## Webアンケート



### 時期

2024年度から、5歳児を開始時点として小学校4年生まで追跡する縦断調査を実施します。

	2024年 (5歳)	2025年 (小1)	2026年 (小2)	2027年 (小3)	2028年 (小4)
保護者	5-6月頃 ●	●	●	●	●
園長	12月頃 ●				
担任保育者	12月頃 ●				
校長		●	●	●	●
担任教員		●	●	●	●

### Q&A

#### どんな調査？

園（就学前教育・保育施設）に通う5歳児（年長児）のお子さん最大15,000名を小学校4年生まで追跡調査し、幼児教育の質がお子さんの成長にどのような影響を与えたかを大規模データから分析し明らかにします。縦断調査とは、同じ人たちを複数時点に渡って追跡する調査のことです。対象の保護者には2028年まで毎年1回、調査協力依頼が届きます。

#### どうやって調べるの？

全国8地方の大規模・中規模・小規模合わせて46市町村（予定）の域内の園にご協力いただき、以下の方々を対象としたWebアンケート調査を実施します。

- 調査開始時点で園に通う5歳児のお子さんの保護者、最大15,000名
- 上記お子さんが通う園の園長先生、担任の保育者（調査の1年目）
- 上記お子さんが進学する小学校の校長先生、担任の先生（調査の2年目～5年目）

#### アンケートで何をきかれるの？

保護者の方と、園/学校の先生とで、お尋ねする内容が異なります。

保護者	お子さんの成長、家庭での養育環境など
園の先生 (園長・担任)	保育者の人数、幼児教育の実践、労働環境など
小学校の先生 (校長・担任)	学校の幼保小接続の取り組み、学級風土など

#### 個々の園や個人が公表されることはあるの？

アンケートはWeb上で個別に行っていただくため、他の人に回答を見られることはありません。また、個々の園や個人が分からないかたちにして集計・解析されますので、調査結果から個々の園や個人が特定されることは一切ありません。

### お問い合わせ



東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター (CEDEP)

住所 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 教育学研究科内

調査ページ [https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/contact\\_mext-2023](https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/contact_mext-2023)

